

海洋理工学会令和6年度 春季大会プログラム

6月10日(月) 13:00-17:30(12:00 受付開始)

シンポジウム「環境問題に技術で向き合う その壱 ～海洋プラスチック～」

- 13:00-13:05 趣旨説明 鶴島 信夫 (産業技術総合研究所)
- 13:05-13:45 基調講演 海洋プラスチック研究をめぐる動き～国際機関の動向等を中心に～
道田 豊 (東京大学大気海洋研究所)
- 13:45-14:20 S1. 高性能な海洋分解性バイオマスプラスチックの開発と深海分解性評価
岩田 忠久 (東大院農)
- 14:20-14:55 S2. 深海底堆積物中のマイクロプラスチック分布から推定される輸送経路の多様性
北橋 倫 (株式会社 KANSO テクノス)
- 14:55-15:15 休憩【賛助会員8社 企業展示コアタイム (会場:天王星)】
- 15:15-15:50 S3. 誘導結合プラズマを用いた水中マイクロプラスチックの計測
寺本 慶之 (産業技術総合研究所)
- 15:50-16:25 S4. AI とリモートセンシングがつなぐ街から海岸までの包括的プラスチック観測網
の構築
加古 真一郎 (鹿児島大学大学院理工学研究科・海洋研究開発機構)
- 16:25-17:05 特別講演 ゼロカーボンを目指す持続可能な社会におけるプラスチックの使い方
加茂 徹 (早稲田大学)
- 17:05-17:30 総合討論
コンビーナー 鶴島 修夫 (産総研)
パネリスト シンポジウム講演者
- 17:30-19:30 イブニングセッション(懇親会@展望ラウンジ)

賛助会員による企業展示:

JFE アドバンテック(株)、(株)アクアサウンド、(株)スペースエンターテイメントラボラトリー、
(株)生物研究社、(株)ゼニライトブイ、(株)鶴見精機、日油技研(株)、ミサゴ(株) (計8社)

6月11日(火) 13:10-17:10(12:30 受付開始)

一般講演

13:10-14:10 海洋物理

座長 畑 恭子 (いであ(株))

A1. 黒潮大蛇行期における房総半島沖の流路安定性について

☆ 平野 雄也 (㈱サイエンスアンドテクノロジー)、植原 量行 (東海大・院・海洋)

A2. 冬季季節風に伴う地形性収束線と水蒸気フラックス

☆ 七五三木 滴・植原 量行 (東海大・院・海洋)

A3. ARMOR3D データ(1993-2020)から得られた 0-1500m における水温トレンドについて

☆ 大西 星夜・植原 量行 (東海大・院・海洋)

14:10-14:30 賛助会員アピールタイム(1) (各社 5分)

JFE アドバンテック(株)、㈱アクアサウンド、㈱スペースエンターテイメントラボラトリー、

(14:30-14:40 休憩・換気)

14:40-15:40 手法・システム開発

座長 川口 勝義(海洋研究開発機構)

A4. 水陸両用 UAV とディープラーニングを用いた川底のゴミ検出手法の開発

☆ 趙帆、劉泳盈、王嘉齊、陳一嘉、席典涵、馬榜章、水野 勝紀 (東京大学・新領域)、
陳語綸 (西南林業大学・環境科学)

A5. ArcGIS を利用した大阪湾・播磨灘流域圏における淡水量・負荷量算出システムの開発

○ 林 正能・市川 哲也 (㈱サイエンスアンドテクノロジー)、賀上 裕二 (㈱水圏科学コンサルタン
ト)、相馬 明郎 (大阪公立大学大学院)

A6. 海底画像を対象としたセマンティックセグメンテーションの環境変動に対する汎化のための
基礎研究

☆ 古市 拓真 (東大工学部)、水野 勝紀 (東京大学・新領域)

15:40-16:00 賛助会員アピールタイム(2) (各社 5分)

(㈱ゼニライトブイ、㈱鶴見精機、日油技研(株)、ミサゴ(株))

(16:00-16:10 休憩・換気)

16:10-17:10 海底探索技術

座長 水野 勝紀(東京大学・新領域)

A7. 海底ケーブルの保護アーマーが作る磁気異常

☆ 森井 愛衣、小西 果純、山下 凧、後藤 忠徳 (兵庫県立大学)、北 高穂 (オーシャンエンジニアリ
ング株式会社)

A8. 光ファイバひずみ計の設置

○ 横引 貴史、西田 周平、辻 修平、荒木英一郎 (海洋研究開発機構)

A9. 海底水圧計の現場校正装置の長期運用について

○ 西田 周平、町田 佑弥、荒木英一郎、松本 浩幸 (海洋研究開発機構)

17:15-17:20 優秀発表賞 表彰 (☆発表者が対象者)

17:20-17:30 学会賞表彰式

17:30-17:35 閉会